

川根本町 図書室だより

7月

2022年7月号

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(17日)・祝日の翌日(19日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

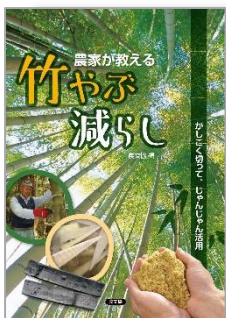
新 着 図 書

『農家が教える竹やぶ減らし』

農山漁村文化協会

かしこく切って、じゃんじゃん活用

【農業】文



やっかいな竹やぶを宝へと変える!
・幼竹メンマ
・竹の1m切り
・暴走を防ぐ間引き
・竹炭
・竹パウダー
・白子タケノコ など、
かしこい竹やぶの減らし方・生かし方を紹介する。

『75歳以上の免許更新が変わる!!! 速報版』

高齢者安全運転支援研究会 監修 JAFメディアワークス

ここが変わる!4つのポイント

【実用】山



違反歴があるとむずかしい運転実技のテストがある!?ふたつあった高齢者講習がひとつになる!?認知機能検査の内容や判定方法が変更に!?
2022年5月より施行される75歳以上を対象とする免許更新の新制度のポイントをイラストとともに解説する。
「運転しやすいサポカー選び」も収録。

『空と宇宙の食事の歴史物語』

リチャード・フォス 著 浜本隆三 訳 藤原崇 訳 原書房

空の食を旅する

【航空】文

長時間の飛行機の旅では、限られた空間で調理、配膳された魅力的な機内食が振舞われる。戦闘時や宇宙では手軽でおいしく栄養のある食事が欠かせない。絶え間ない技術開発に支えられている空での食事の変遷を追う。レシピ付き。



『マスカレード・ゲーム』 東野圭吾 著 集英社

累計490万部突破シリーズ、総決算!

【小説】山

解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。
警部となった新田浩介は、複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始する...



文化会館図書室所蔵

● 『泣き虫先生』 ねじめ正一 著 新日本出版社

感動屋の「泣き虫先生」と少年野球チームの監督「チビカン」、バッテリーを組む卓也と清田。揺れ動く少年の心、迷い戸惑う大人の心。市井の人々の心の機微をていねいに描く。

小説

● 『私の盲端』 朝比奈秋 著 朝日新聞出版

人工肛門により生活が一変した女子大生の涼子。新たな穴と付き合いながら暮らすうちに、同じ境遇の男との奇妙な交流が始まり…。表題作のほか、第7回林芙美子文学賞受賞作「塩の道」も収録。

小説

● 『二重らせんのスイッチ』 辻堂ゆめ 著 祥伝社

身に覚えのない強盗殺人容疑で逮捕された雅樹。犯行現場に残されたDNAは、雅樹のものと一致。防犯カメラに映っていたのは、まぎれもなく自分。自らの記憶、精神をも疑いはじめた矢先…。

小説

● 『夏が破れる』 新庄耕 著 小学館

いじめをきっかけに不登校となっていた中学生の進は、親の勧めで夏の2ヶ月を沖縄の離島で過ごすことになる。大人たちの恐ろしい素顔を目の当たりにした進は、命がけの脱走を図るが…。

小説



● 『のぞいてごらんおとぎのせかい』
青山邦彦 作 フレーベル館
ジャックと豆の木、シンデレラなど7つのおとぎばなしを、1枚の絵の中に精緻に再現。おとぎばなしにでてくるお城や家のなかはどうなっているのかがわかります。

山村開発センター図書室所蔵

● 『布武の果て』 上田秀人 著 集英社

茶の席で武将たちの情勢を探り、合戦に欠かせない鉄砲や硝石の手配を一手に握った堺商人たち。彼らの目を通して見た、織田信長の姿とは。「本能寺の変」の真相とは…。

小説

● 『逆転のアリバイ』 香納諒一 著 光文社

真理子と夫は綿密な殺人計画を立てるが、予想外の人物が凶弾に倒れる。どこからか加害者による計画なのか。予断を持って捜査を進める集団の中、花房は別の可能性を検討しはじめ…。

小説

● 『スタッフロール』 深緑野分 著 文藝春秋

戦後ハリウッドで奮闘した特殊造形師・マチルダ。現代ロンドンのCGクリエイター、ヴィヴィアン。CGの嵐が吹き荒れるなか、映画に魅せられた2人の魂が時を越えて共鳴し…。

小説

● 『爆弾』 呉勝浩 著 講談社

都民1400万人を人質にとる無差別爆破テロ。爆弾の在り処の手がかりは、容疑者と思しき中年男が出す“クイズ”のみ。狭小な取調室の中で、正体不明の容疑者と警察の戦いが始まる。

小説



● 『きんたろうようちえん』
やぎたみこ 作 あかね書房
山の上に、きんたろう先生が園長の幼稚園がありました。子どもたちと動物たちが過ごす夢のように楽しい幼稚園のお話です!

おはなみ!

『ぼくモグラキツネ馬』

チャーリー・マッケジー 著 川村元氣 訳

モグラ ‘‘おおきくなったら、なにになりたい?’’
ぼく ‘‘やさしくなりたい’’

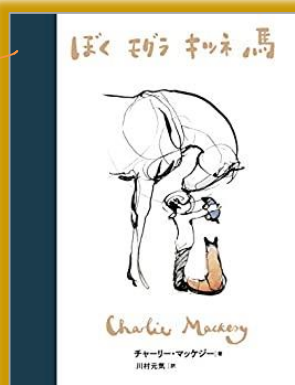
旅と友情のお話ですが、とても穏やかな居場所への旅のようです。森を旅するぼく、モグラ、キツネ、馬。それぞれの中に自分を感じられることでしょう。あなたの中にあってみんな愛おしい。このお話はまるで深呼吸をしたように自分にやさしい時間をくれます。

外の世界は目まぐるしく、時折自分に戸惑うこともあります。むずかしい時間もやさしい時間も同じように時間は流れています。ただただ呼吸を感じる時間もあっていい。そうして…いつもの世界がくつきりして、また人生の旅の始まりです。

PS 楽譜からこの本を読んでみても♪



図書室スタッフN子(^.^)



(山村開発センター所蔵)